

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	En.療育ラボ新井薬師スタジオ	公表日	2026/03/27
------	-----------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90.0%	10.0%	・空間シェアがはっきりしており、テープやカラーコーンで分かりやすく区切っております。	・小集団を行うときには、安全管理に特に注意を払っております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%		・法令順守で配置しております。	・会員数が多い為、配置以上にスタッフの人数の確保が必要と感じております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%			・危険個所がないか日々確認していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%		・毎朝清掃を行い、清潔な空間を心掛けております。	・危険個所がないか日々確認していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%		・保護者待合室を使用しております。	・保護者待合室も安全に使えるように、危険個所がないか確認しております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0%		・業務改善に向けて終礼で話し合っております。	・共有された職員が漏れなく他のスタッフに共有出来るように努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%		・保護者面談を行い、その内容を業務改善につなげております。	・風通し良く意見が届くように、保護者様と密に連絡を取り合っております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%		・定期的に面談の機会を設けており、職員の意見を聞く場面を多く取り入れております。	・管理者による職員の面談を定期的に行います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100.0%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%		外部も含めて、定期的に研修の機会が設定されております。	・ジョブメドレーによる研修制度を漏れなく全職員受けるようにしていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%		・少なくとも半年に一回以上支援計画を更新しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%		・保護者面談の内容を全スタッフに共有し、支援計画の作成に努めております。	・保護者様のニーズをよく分析し、より良い支援が出来るよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%		・随時確認出来るようにしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%		・支援計画に記載しております。	・ニーズに合わせて今後は地域支援・地域連携にも力を入れていきたいと思えます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%		・療育リーダーを中心に、チームで立案しております。	・引き続き全スタッフでプログラム内容について考慮していきたいと考えております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%		・担当制にはせず、さまざまな視点からプログラムを考えられるようにしております。	・ニーズに合わせてプロンプトを付けることによってプログラムが固定化しないようにしていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%		・ニーズに合わせて、個別療育の方にも集団療育をすすめております。	・引き続きお子さまに合わせて支援を提供してまいります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%		・日々終礼で支援内容を共有し、支援内容を全スタッフに共有しております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%		・毎日終礼で共有しております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%		・日々の支援に関して記録しております。	・記録を全スタッフが確認出来るようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%		・保護者面談を定期的に行っております。	・聞き取りだけでなく助言が出来るように努めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%		・担当スタッフが参加しております。	・管理者、担当スタッフが参加してまいります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50.0%	50.0%	・行事を見学し、その都度連携を取っている。	・連携を密に取ってまいりたいと思えます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60.0%	40.0%	・行事を見学し、その都度連携を取っている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	70.0%	30.0%			
	(28～30は、センターのみ回答)						
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
(31は、事業所のみ回答)							
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	60.0%	40.0%	・連絡を頂いたときには、対象のご家庭と面談の機会を設けております。	・定期的な連携が取れるようにしてまいります。		

関係機関や保護者との連携	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100.0%		・交流する機会を増やしていけたらと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	・毎回フィードバックを行い、連絡を密に取っております。	・来所のない保護者様にはメールやLINEでご連絡しております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%		・今後機会を増やしてまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	・契約時に説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	・面談の機会を設け確認しております。	・毎回フィードバックでご意向を引き出せるようにしております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	・面談の機会を設け確認しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100.0%		・今後検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	・HPで活動の様子をブログで配信しております。	・こまめに配信できるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	・厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	・口頭でお伝え頂いた内容もLINEやメールで文字で残るようにしております。	・口頭でお伝え頂いた内容を確認の為にLINEやメールでお伝えしてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100.0%	・今後検討してまいります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	・発生を想定した実践研修を行っております。	・全てのマニュアルで想定した訓練が出来るようにしてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	・定期的な避難訓練を行ってまいります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	・記入用紙を配布し、事前に情報を得ております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	・事前に、アレルギーについて用紙に記載いただいております。	・おやつを提供する場面はございませんが、行事でお菓子をお渡しするときにはご自宅でご召し上がったかどうかを確認しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	・怪我の内容に安全管理に十分に気を付けております。	

非常時等の対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%		・終礼でその都度共有しております。 ・改善点について終礼で密に話し合っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%		・職員研修を定期的に行っております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%		